

## 図書館だより

●開館時間●  
9:00～18:00

●8月の予定●

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 休館日
- おはなし会
- ここにこほっぺのおはなし会
- ひろたのみんなのおはなし会
- 夏休みのおはなし会

砥部町立図書館

☎(962)4400

## 新着紹介

『カケラ』 湊 かなえ  
 『こんぱるいろ、彼方』 柳月美智子  
 『妖(あやかし)の掟』 誉田 哲也  
 『死者との対話』 石原慎太郎  
 『少年と犬』 馳 星周  
 『まだ温かい鍋を抱いておやすみ』 彩瀬 まる  
 『逆ソクラテス』 伊坂幸太郎  
 『逃亡者』 中村 文則  
 『スノードロップ』 島田 雅彦  
 『輪舞曲(ロンド)』 朝井まかて



『パレエのおけいこ』  
 石津 ちひろ / 文  
 庄野 ナホコ / 絵  
 ブロンズ新社 刊

黒猫のミイさんは、まいちゃんと一緒にパレエのお稽古へ。しかし、いくら練習してもピルエットがうまく回れません。ある夜、お月さまに「じょうずに回れますように」と手紙を書く、ぬいぐるみのクマが動き出して…。



『月のケーキ』  
 ジョン エイキン  
 三辺 律子 / 訳  
 東京創元社 刊

月のケーキの材料は、桃にブランドイにクリーム。タツノオトシゴの粉と、それから…。祖父の住む村を訪ねた少年の不思議な体験をえがく表題作など全13編を収録した、短編集。



『元号「令和」と万葉集』  
 東 茂美  
 海鳥社 刊

「令和」の典故とされる「梅花の歌」の序文とはいったいどのようなものなのか。新元号に込められた意味とは何なのか。中西万葉学の学徒が比較文化学・比較文学の視点からやさしく語る、元号「令和」論。

## 役者井上正夫

☎(962)5952  
 社会教育課文化スポーツ係

井上正夫は、芝居をする上で、

田舎なまりの埋め合わせをするため、扮装に凝っていました。(自伝

『花け損ねた狸』より) 特に髪の毛

に対するこだわりは強かったようです。

最初に入った劇団敷島義団で、

師のために、自分の額の生え際の

髪を抜いて付けひげを作ったそうです。

生え際の毛が特別薄くなった

たといいます。

1904(明治37)年3月、井

上正夫と改名後に出演した「征露

の皇軍」では、丸坊主にして裾に

赤犬の毛をニスで貼り付ける、時

間と根気の必要なメーカーを

使いました。落とす時もアルコール

を使い、痛みがひどかったよう

です。15日間、その痛みに耐えて

舞台出演しました。

また、1923(大正12)年に

撮影された映画「噫(ああ)無情」

では、弁髪(べんぱつ)の中国人

に扮するため、床屋へ行って額や

左右側面の生え際の毛を一本一本

抜き取らせたとあります。

1926(大正15)年の映画

「狂った一頁」でも、原作者川端康

成の書いた撮影日記に、「頭はだ

んだらに毛を切り取りし苦心のも

の。実によし」と書かれています。

(学芸員 宮本直美)



「噫無情」の井上正夫

弁髪とは、頭髮の一部を残して剃りあげ、残りの毛髪を伸ばして三つ編みにし、後ろに垂らした髪型。